

八街市協働のまちづくり検討会分科会報告書

分科会名	第3分科会		
テーマ	防犯・防災・ボランティア		
開催日	平成 26年 4月 23日	検討回数	第2回

検討結果概要

1. 今回検討した項目

- ・前回、各自に分担した調査資料の配付、説明。
- ・防犯、防災、ボランティアについて現状、課題について各自、自由に意見を出し合う。

2. 今回の討議した内容(報告)

資料の配付の後にさまざまな意見が出された。

ボランティア団体について

- ・活動の中で担い手が高齢化している。
- ・ボランティア活動の中で高齢者の見守りが必要。
- ・傾聴ボランティアは人数が限定されている。

このような意見の中で、高齢者の見守り、対応が議論の話題となった。

- ・町内会、区として見守り隊が必要なのではないか。
区については、高齢者が共に活動ができないなどの理由で脱会するケースが多い。高齢者こそむしろ区に加入してもらわなければならないのではないか。
- ・子どもの見守り隊だけでなく、高齢者の見守り隊も必要ではないか。
- ・高齢者の見守りについては高齢者福祉課に情報がある。
- ・市が郵便局などと協定を結び、見守りを実施している施策がある。
これについては、事業の内容、事業結果など詳細を調査する必要がある。
- ・このような高齢者の見守り、ボランティアなどの活動においては、点ではなく、面としての活動でなければならないのではないか。

ここで、あらためて区の組織、活動の重要性が話題となった。

- ・区は、区長等が交代してしまうため継続性がむずかしい。このため実態を踏まえた事業計画策定がむずかしい。
- ・自主防災組織を市内のすべての区で立ち上げれば、高齢者の見守りもできる。
- ・富山区、朝日区の一部では見守り隊を実行している。
- ・さまざま事業を実施するために、地域のリーダーの育成が必要である。

今回出された、さまざまな意見を踏まえて、さらに調査、検討していくこととする。

3. 次回の検討方針

- ・次回までに、第2回検討会での各分担をさらに掘り下げて実態調査を行ったうえで検討する。
- ・中間報告に向けて、作業をする。
問題を拾い直し、現状を把握する。
地域の取組みはどうなっているか。取組みについて整理をし、課題、問題解決を整理する。